

嚥下造影検査（VF）に関する説明（No.1）

目 的

嚥下造影（VF）検査はバリウム造影剤という薬を混ぜた検査食を飲み込み、レントゲンを撮影します。検査により、飲みこみ障害の有無や、患者さんに適切な食事形態を評価することができます。車いすに支持なく座れる方が対象の検査です。

方 法

- ① 検査の数時間前から絶食します。
- ② レントゲン検査室で、車椅子で座った状態で撮影を行います。
- ③ 造影剤を混ぜた検査食をレントゲン撮影をしながら召し上がっていただきます。
- ④ 検査時間は30～60分程度です。

合 併 症

①誤嚥性肺炎、窒息

嚥下障害のある患者さんが対象の検査ですので検査食や唾液を誤嚥する可能性があります。誤嚥量を最小限にとどめ、すぐに吸痰できるよう吸痰器を準備して行いますが誤嚥・窒息の可能性があります。当日から数日経って熱が出たり痰が増えたりします。（10人につき4人程度の割合）体力が低下した患者さんでは誤嚥性肺炎から後遺症を残したり死につながることもあります。

②造影剤アレルギー

胃透視と同様に、きわめてまれですが造影剤にアレルギーがでる場合があります。

③便秘

一時的に軽い便秘になる可能性があります。検査後は造影剤の排出を促すため、水分制限のない方は水分を多めに摂って下さい。

④その他

もし体調が変だと感じたら、ためらわずにすぐにおっしゃってください。その他わからないことや、気になることがあれば検査担当者にお申し出ください。

検査中は医師、看護師、言語療法士、管理栄養士が患者さんの状態をそばで観察しておりますが、低いながらも合併症が起こることは否定できません。すべての合併症を事前に予測することは不可能です。万が一副作用や偶発症が起きた場合は最善の処置と治療を行います。この際、入院期間を延長したり、緊急の処置や治療が必要になったりする事もありますが、これらの診療は通常の保険診療にて患者さんの負担で行われます。同意が得られない場合、検査は行いません。また同意書を提出された後でもお申し出があれば検査を中止することができます。

以上、嚥下造影検査に関して、目的、合併症などについて説明いたしました。皆様には納得していただいた上で、検査を受けていただくよう心がけております。説明をお聞きになってご不明な点は遠慮なく担当医、またはスタッフにお尋ねください。実施前であれば同意を取り消すことができます。

嚥下造影検査（VF）に関する説明（No. 2）

診療所名：

患者名：

説明日：

説明医師：

同席者署名：（ ） ※記載無き場合は同席者無し

嚥下造影検査（VF） 同意書

甲南病院病院長 殿

このたび私は嚥下造影検査の内容説明を受け、かつそれに対する十分な質問の機会が与えられ理解しました。また、緊急の処置をする必要が生じた時は、適宜処置を受けることについても理解しましたので

同意する 同意しない（理由： ）

平成（ ）年（ ）月（ ）日 患者署名：（ ）

保護者又は親権者・親族等署名：（ ）

※患者さんが未成年の場合は保護者の同意（署名）が必要です。

医療法人社団 仁生会 甲南病院